

MDP-5

モバイルデータプレーヤー

取扱説明書 (詳細編)



MDP-5 の基本的な使い方については、付属の取扱説明書 (基本編) を参照してください

目次

各部の名称

MIDI インプリメンテーションチャート

共通操作 P 1

デモソング再生 P 2

ソング再生の基本操作 P 2

ソングの再生 P 3

・巻き戻し / 早送り / 一時停止 P 4

・テンポの調節 P 4

楽器の練習に便利な機能 P 5

繰り返し再生 (リピート) P 5

・ 1 曲の繰り返し再生 P 5

・ 指定した範囲の繰り返し再生 (A-B リピート) P 5

音の高さの微調整 (チューニング) P 6

移調 (トランスポーズ) P 7

基準音を鳴らす P 7

メトロノーム / リズム P 8

カウントイン P 9

マイナスイン P 9

・ クイックマイナスイン P 10

・ 楽器マイナスイン P 10

・ トラックマイナスイン P 11

カラオケ P 11

カラオケを楽しむ P 11

・ ダウンロードしたソングでカラオケを楽しむ P 12

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 市販の音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・ その他、本紙に掲載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

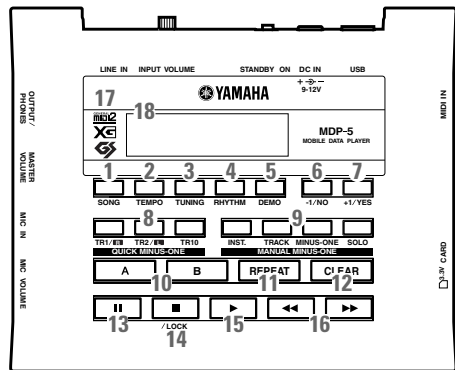
この製品は、ヤマハ (株) が著作権を有する著作物やヤマハ (株) が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、MIDI データ、WAVE データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ (株) の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

再生紙/エコノバルブ(無塩素系漂白/バルブ)を使用しています。
大豆油インクで印刷しています。

各部の名称

参照ページが記載されていないものについては、付属の取扱説明書（基本編）の「ご使用前の準備」「外部機器との接続」を参照してください。

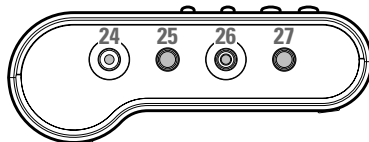
トップパネル



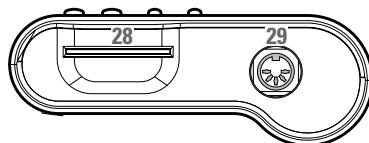
トップパネル

- | | | |
|----|---|----------|
| 1 | [SONG] | P 3~4 |
| 2 | [TEMPO] | P 4 |
| 3 | [TUNING] | P 6~7 |
| 4 | [RHYTHM] | P 8~9 |
| 5 | [DEMO] | P 2 |
| 6 | [-1/NO] | P 1 |
| 7 | [+1/YES] | P 1 |
| 8 | QUICK MINUS-ONE 【TR 1 R/】
トラック トラック | |
| 9 | MANUAL MINUS-ONE 【INST.】 【TRACK】
マニュアルマイナスイワン インスト トラック | P 9 |
| 10 | [A] [B] | P 5 |
| 11 | [REPEAT] | P 5 |
| 12 | [CLEAR] | P 3, 6 |
| 13 | [■] | P 4 |
| 14 | [■/LOCK] | P 2, 4~6 |
| 15 | [▶] | P 2~5 |
| 16 | [◀▶] | P 4, 6 |
| 17 | ロゴマーク | P 1 |
| 18 | 画面 | P 1 |

サイドパネル(左)



サイドパネル(右)



サイドパネル (左)

- | | | |
|----|--|--------|
| 24 | [OUTPUT/PHONES]
アウトプット/フォーンズ | |
| 25 | [MASTER VOLUME] | P 2, 4 |
| 26 | [MIC IN] | P 12 |
| 27 | [MIC VOLUME] | P 12 |

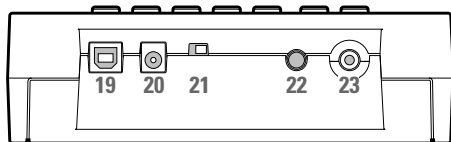
サイドパネル (右)

- | | | |
|----|-------------------------------------|-----|
| 28 | [3.3 V CARD] (カードスロット) | P 3 |
| 29 | [MIDI IN] | |

表記上の決まり

この取扱説明書では、【 】はMDP-5本体のボタン類を示します。この場合、ボタン、ジャック(端子)といった言葉は省略します。たとえば、「[SONG]」のボタンは【SONG】と表記します。

リアパネル



リアパネル

- | | | |
|----|-----------------------|--|
| 19 | [USB] | |
| 20 | [DC IN] | |
| 21 | [STANDBY ON] | |
| 22 | [INPUT VOLUME] | |
| 23 | [LINE IN] | |

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default X Changed X	1 - 16 1 - 16	
Mode	Default X Messages X Altered *****	3 3,4 (m=1) *2 X	
Note Number : True voice	X *****	0 - 127 0 - 127	
Velocity	Note ON X Note OFF X	O 9nH, v=1-127 X	
After Touch	Key's X Ch's X	O *1 O *1	
Pitch Bend	X	O 0 - 24 semi *1	
Control Change	0,32 X 1,5,7,10,11 X 6,38 X 64-67 X 71-74 X 84 X 91,93,94 X 96-97 X 98-99 X 100-101 X	O *1 O *1 O *1 O *1 O *1 O *1 O *1 O *1 O *1 O *1	Bank Select Data Entry Sound Controller Portament Cntrl Effect Depth RPN Inc,Dec NRPN LSB,MSB RPN LSB,MSB
Prog Change : True #	X *****	O 0 - 127	
System Exclusive	X	O	
Common : Song Pos. : Song Sel. : Tune	X X X	X X X	
System : Clock Real Time : Commands	X X	X O	
Aux : All Sound Off : Reset All Cntrls : Local ON/OFF Mes- : All Notes OFF sages: Active Sense : Reset	X X X X X X	O (120,126-127) O (121) X O (123-125) O X	
Notes:	*1 receive if switch is on. *2 m is always treated as "1" regardless of its value.		

ロゴマークについて



GM システムレベル 2

「GM2」とは、「GM システムレベル 1*」に対し同時発音数、音色数、音色パラメーター、エフェクトなどの機能を拡張して規定することにより、曲データの更なる互換性を向上させることが可能な一定の基準です。「GM2」に準拠した音源やソングデータには、この GM2 マークがついています。



XG

「XG」とは、音色の配列に関する「GM システムレベル 1*」をより拡張し、時代と共に複雑化、高度化していくコンピューター周辺環境にも対応させ、豊かな表現力とデータの継続性を可能とした音源フォーマットです。「XG」では、音色の拡張方式やエディット方式、エフェクト構成やタイプなどを規定して、「GM システムレベル 1」を大幅に拡張しました。XG マークのついた市販のソングデータを、XG マークのついた音源で再生することによって、無数の拡張ボイスやエフェクト機能までも含めた壮大な演奏を手軽に楽しむことができます。



GS

「GS」とは、ローランド株式会社の音源フォーマットです。ヤマハの XG フォーマットと同様、GM (General MIDI, MIDI の応用配列で音色配列に関する共通仕様) の仕様に加え、音色セットやドラムセットの拡張、音色の修正、エフェクトなどの拡張機能を規定しています。



GM システムレベル 1

「GM システムレベル 1」とは、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列や MIDI 機能に関する一定の基準のことです。「GM システムレベル 1」に準拠した音源やソングデータには、この GM マークがついています。

MDP-5 で再生できるソングデータの各種フォーマット

MDP-5 で再生できるソングデータの各種フォーマット (「シーケンスフォーマット」、「音色配列フォーマット」) は下記のとおりです。市販のいろいろな種類のソングデータや、電子楽器などで録音したソングデータ、パーソナルコンピューターなどで作成したソングデータについても、下記のフォーマット (「音色配列フォーマット」は、掲載されている中の 1 つ) に該当する場合に MDP-5 で再生できます。

下記のフォーマットに該当しないソングデータは、再生できなかつたり、正しく再生できなかつたりします。

シーケンスフォーマット:

SMF (スタンダード MIDI ファイル) フォーマット 0

NOTE SMF フォーマット 1 のデータは、付属ソフトウェアのカードファイラーを使って SMF フォーマット 0 に変換することができます。

音色配列フォーマット:

GM システムレベル 1、GM システムレベル 2、XG、GS

共通操作

MDP-5 を操作する上での共通事項を説明します。

設定する ([-/NO] [+ /YES])

[-/NO] [+ /YES] は各種の設定操作に使われます。どの場合でも共通して、次の 2 つの操作を覚えておくことが便利です。

・押し続けると連続して値が変わる。(ただし、最大値 / 最小値に達すると止まる。)

・ [-/NO] [+ /YES] を同時に押すと、基本設定 (工場出荷時の設定) に戻る。

設定画面から元の画面に戻す

ソング再生の場合は [SONG]、デモ再生の場合は [DEMO] を押すと、各種の設定画面から元の画面に戻すことができます。また、各種の設定画面で約 10 秒間操作をしないと、自動的に元の画面に戻ります。

設定の記憶について

- ・各種の設定画面を抜けても、設定は保持されます。設定を変更 / 解除したい場合は、各設定画面で変更 / 解除してください。
- ・各種の設定は、電源を切ると消えます。電源を入れたときには常に基本設定 (工場出荷時の設定) になります。

デモソング再生

NOTE MDP-5の再生音を聞くためには、ヘッドフォンやスピーカーとの接続が必要です。接続方法は、付属の取扱説明書（基本編）の「外部機器との接続」を参照してください。

1 デモ画面を表示させる

[^{デモ}DEMO] を押してデモ画面を表示させます。
画面の上段にデモソング名、下段に小節数が表示されます。

2 デモソングを選ぶ

[^ノ-1/^{イエス}NO] [⁺+1/^{YES}YES] を押してデモソングを選びます。
画面の上段にソング名、下段にデモソングのナンバーが表示されます。
デモソングのナンバーは、一定の時間がたつと小節数表示に切り替わります。

デモソングリスト

No.	曲名(邦題)	作曲家
1	Just the way you are (素顔のまま)	Billy Joel
2	Love (ラブ)	John Lennon
3	Buglers Holiday (トランペット吹きの日)	Leroy Anderson
4	Autumn Leaves (紅葉)	Joseph Kosma
5	Dance of the Reed Pipes (葦笛の踊り…くるみ割り人形より)	Pyotr Ilyich Tchaikovsky

上記デモソングは、原曲から編曲/抜粋されています。

3 再生スタート

[▶] を押してデモソングを再生します。

音量の調節

マスターボリューム
[MASTER VOLUME] で調節します。

NOTE デモソングのテンポは調節することができます (P 4)。

4 再生ストップ

[■/LOCK] を押してデモソングの再生をストップします。

デモソングが最後まで再生された場合は、次のデモソングが続けて再生されます。

ソング再生の基本操作

NOTE ソングとは

MDP-5では、演奏データを総称して「ソング」と呼んでいます。

NOTE MDP-5で再生できるデータの種類

MDP-5で再生できるデータは、SMF（スタンダード MIDI ファイル）フォーマット0のデータだけです。SMFフォーマット1のデータやオーディオデータは再生することができません。SMFフォーマット1のデータは、付属ソフトウェアのカードファイラーを使ってフォーマット0に変換することができます。

スマートメディアのフォーマット (初期化)

新しいスマートメディアを MDP-5 で使用するためには、フォーマットが必要です。(付属のスマートメディアはフォーマット済みです。)



スマートメディアをフォーマットすると、メディアに保存してあったデータはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

フォーマット方法

1. **[SONG]** を押し**ソング**てソングモードに入ります。
2. **[CLEAR]** を押し**クリア**ながら、スマートメディアをカードスロットに差し込みます。
3. **[+I/YES]** を押し**イエス**て、フォーマットを開始します。
フォーマットを中止したいときは、**[-I/NO]** を押し**ノー**ます。
フォーマット中は、画面下段中央の「■」が点滅します。
NOTE フォーマット中はスマートメディアを抜かないでください。
フォーマットが完了すると「Completed!」が表示されます。

ソングの再生

NOTE ソングをスマートメディアに書き込む方法は、付属の取扱説明書(基本編)「メロディパート(メインパート)を自分で演奏してみよう」の「ソングをスマートメディアに書き込む」を参照してください。

1 再生したいソングが入ったスマートメディアを MDP-5 に差し込む

スマートメディアの端子部(金色)を上向きにして、カードスロット(挿入口)にしっかりとていねいに奥まで差し込みます。



スマートメディアの取り扱いについては、付属の取扱説明書(基本編)「スマートメディアの取り扱いについて」を参照してください。

2 ソング画面を表示させる

[SONG] を押し**ソング**てソング画面を表示させます。

画面の上段にソング名、下段にファイル名かフォルダー名(画面左下に「■」が表示されている場合はフォルダー名です)が表示されます。

フォルダー名が表示されている場合は、**[SONG]** を押し**ソング**て1つ下の階層を表示させることができます。

元の階層に戻るときは、**[-I/NO]** **[+I/YES]** を同時押し**イエス**て「■..」を表示させてから **[SONG]** を押し**ソング**ます。

ファイル名は、一定の時間がたつと小節数表示に切り替わります。

NOTE ソング名、ファイル名/フォルダー名とは

ソング名は SMF に記録されている曲名、ファイル名/フォルダー名はコンピューター上で表示されるファイル/フォルダーの名前です。

NOTE MDP-5 では、フォルダーを作成することはできません。

NOTE ファイル/フォルダーは、ファイル名/フォルダー名のアルファベット順に自動で並べ替えられます。

3 ソングを選ぶ

[-I/NO] **[+I/YES]** を押し**ノー**てソングを選びます。

4 再生スタート

[▶] を押し再生します。

再生中はスマートメディアを抜かないでください。

音量の調節

マスターボリューム
【MASTER VOLUME】で調節します。
さらに音量を上げたい場合は、ソング停止 / 一時停止中に
ソング 【SONG】を押したまま ノー 【-1/NO】 イエス 【+1/YES】を押して出力ゲ
イン値を上げます（設定範囲：+3dB、+6dB）。
出力ゲイン値を上げると、ソングによっては音がひずむこと
があります。そのような場合は、出力ゲイン値を下げます。

5 再生ストップ

ロック
【■/LOCK】を押してソングの再生をストップします。
ソングが最後まで再生された場合は、自動的にストップします。

巻き戻し / 早送り / 一時停止

巻き戻し

ソング再生中、一時停止中とも、【◀◀】を押すと小節単位でソングが巻き戻
ります。ボタンを押し続けると連続して巻き戻ります。

早送り

ソング再生中、停止中、一時停止中とも、【▶▶】を押すと小節単位でソング
が早送りされます。
ボタンを押し続けると連続して早送りされます。

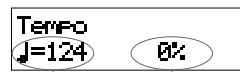
一時停止

ソング再生中に【⏸】を押すとソングが一時停止します。もう一度【⏸】
を押すか【▶】を押すと、再び再生が始まります。

テンポの調節

1 設定画面を表示させる

テンポ
【TEMPO】を押して設定画面を表示させます。



ソングのテンポ ソング固有のテンポと調節後のテンポ
の割合

2 テンポを調節する

ノー イエス
【-1/NO】 イエス 【+1/YES】を押してテンポを調節します。
ボタンを押し続けると、連続して値が変わります。

ソング固有のテンポに戻りたいときは、ノー イエス
【-1/NO】 イエス 【+1/YES】を同時に
押します。

設定範囲 :32 ~ 280

NOTE 新しいソングを選ぶと（または、繰り返し再生 <P 5> で新しいソ
ングがスタートすると）テンポは自動的にそのソング固有のテンポに
リセットされます。

NOTE テンポデータが入っていないソングでは、テンポが 120 になります。

3 元の画面に戻る

ソング再生の場合は ソング 【SONG】、デモ再生の場合は デモ 【DEMO】を押します。

5 ページへ

テンポのロック

テンポが一定でないソングを、一定のテンポで再生することができます。一定のテンポで練習したいときに便利です。

1 ソング停止中に、テンポの設定画面 (P4) でテンポを指定する

2 【^{ロック} /LOCK】を押してテンポをロックする
テンポをロックすると、テンポ表示の右に「*」が表示されます。
もう一度【^{ロック} /LOCK】を押すと、ロックが解除されます。

楽器の練習に便利な機能

繰り返し再生 (リピート)

1 曲の繰り返し再生

1 繰り返し再生したいソングを選ぶ
ソングの選び方については、P3を参照してください。

2 繰り返し再生をスタートする

^{リピート}【REPEAT】を押して繰り返し再生を設定してから、【▶】を押してソングの再生をスタートします。

3 繰り返し再生を解除する

もう一度 ^{リピート}【REPEAT】を押して繰り返し再生を解除します。

指定した範囲の繰り返し再生 (A-B リピート)

ソングのある特定の範囲 (A点とB点) を指定して、繰り返し再生することができます。

1 繰り返し再生したいソングを選んで再生する

ソングの再生の仕方については、P3を参照してください

2 繰り返し再生の開始位置 (A点) を決める

繰り返し再生の開始位置にしたいところで【A】を押します。

NOTE A点だけ設定して繰り返し再生すると、A点からソングの最後までが繰り返し再生されます。

3 繰り返し再生の終了位置 (B点) を決める

繰り返し再生の終了位置にしたいところで【B】を押します。

NOTE B点だけ設定して繰り返し再生すると、ソングの始めからB点までが繰り返し再生されます。B点は、A点より前に設定することはできません。

4 繰り返し再生をスタートする

^{リピート}【REPEAT】を押して繰り返し再生を設定してから、【▶】を押してソングの再生をスタートします。

5 繰り返し位置を解除する

クリア
【CLEAR】を押して繰り返し位置を解除します。
別のソングを選ぶと、指定した繰り返し位置が自動的に解除されます。

小節単位で A 点 / B 点を指定する方法

1. ソングの停止中や一時停止中に、【▶▶】で A 点 / B 点を指定したい位置までソングを進めます。
ただし、B 点は繰り返しの終わりにしたい小節の、次の小節まで進めておきます。
2. 【A】 / 【B】を押して A 点 / B 点を指定します。

音の高さの微調整 (チューニング)

再生音の高さを微調整することができます。再生音の高さを、演奏する楽器の音の高さに正確に合わせたいときに使います。

NOTE MDP-5 を音源として使用しているときにチューニングの設定画面を表示させると、一部の音色が変更されることがあります。

1 設定画面を表示させる

チューニング
【TUNING】を押して設定画面を表示させ、さらに チューニング 【TUNING】を押して「A=」の右にカーソルを合わせます。

2 音の高さ (チューニング値) を設定する

ノー 【-1/NO】 イエス 【+1/YES】を押して A3 の音の高さ (ピアノでは中央の「ラ」の音) を設定します (0.2Hz 単位)。ボタンを押し続けると、連続して値が変わります。基本設定に戻りたいときは、ノー 【-1/NO】 イエス 【+1/YES】を同時に押します。

設定範囲 : 415.2 ~ 466.2 Hz

基本設定 : 440.0 Hz

NOTE Hz とは

音の高さを示す単位です。(音の高さは音波の振動数によって決まります。1 秒間に何回振動するかという数値の単位が Hz です。)

3 元の画面に戻す

ソング再生の場合は ソング 【SONG】、デモ再生の場合は デモ 【DEMO】を押します。

チューニングのロック

ソング固有のチューニング値に関わらず、設定したチューニング値を維持することができます。
管楽器や弦楽器などのアコースティック楽器で MDP-5 と合奏するとき、一定のチューニング値を維持することができて便利です。

1 ソング停止中に、チューニングの設定画面 (左記) でチューニング値を指定する。

2 ロック 【 /LOCK】を押してチューニングをロックする。
チューニングをロックすると、「Hz」の右に「*」が表示されます。

もう一度 ロック 【 /LOCK】を押すと、ロックが解除されます。

移調（トランスポーズ）

再生音のキー（調）を半音単位で上げたり下げたりすることができます。たとえばトランスポーズ量を「5」に設定すると、再生音「ド」が「ファ」になり、「ハ長調」のソングを「ヘ長調」で再生することができます。

1 設定画面を表示させる

チューニング【TUNING】を押して設定画面を表示させ、さらに チューニング【TUNING】を押して「Tms=」の右にカーソルを合わせます。

2 音の高さを設定する

ノー イエス【-1/NO】 ノー イエス【+1/YES】を押して音の高さを設定します（半音単位）。ボタンを押し続けると、連続して値が変わります。基本設定に戻したいときは、ノー イエス【-1/NO】 ノー イエス【+1/YES】を同時に押します。

設定範囲：-24（-2 オクターブ）～ +24（+2 オクターブ）
基本設定：0（標準の高さ）

3 元の画面に戻す

ソング再生の場合は ソング【SONG】、デモ再生の場合は デモ【DEMO】を押します。

基準音を鳴らす

基準音を鳴らして楽器をチューニングすることができます。また、基準音の高さを変更することもできます。

1 設定画面を表示させる

チューニング【TUNING】を押して設定画面を表示させ、さらに チューニング【TUNING】を押して「Tone」の右にカーソルを合わせます。

2 基準音の高さを設定する

ノー イエス【-1/NO】 ノー イエス【+1/YES】を押して基準音の高さを設定します。基準音は、高さを設定すると同時に鳴りだします。ボタンを押し続けると、連続して値が変わります。

設定範囲：Off、A2～A4（A3が、ピアノでは中央の「ラ」の音です）
基本設定：Off

3 基準音を止める

ノー イエス【-1/NO】 ノー イエス【+1/YES】を同時に押します。

4 元の画面に戻す

ソング再生の場合は ソング【SONG】、デモ再生の場合は デモ【DEMO】を押します。

メトロノーム / リズム

MDP-5はメトロノーム（楽器の練習によく使われる、正確なテンポを刻む道具）を備えています。メトロノームとして単独で使うことも、曲を再生しながらタイミングをとる助けとして使うこともできます。

また、メトロノーム以外のさまざまなリズムを鳴らせば、リズムに合わせて演奏することもできます。

NOTE リズムトラックのない曲またはGSソングが選ばれているときは、メトロノーム / リズムが使えません。

1 設定画面を表示させる

[RHYTHM] を押し設定画面を表示させ、さらに **[RHYTHM]** を押し「Rhythm:」の右にカーソルを合わせます。

2 メトロノーム / リズムを鳴らす

[-1/NO] [+1/YES] を押しメトロノームの拍子 / リズムの種類を選びます。

ボタンを押し続けると、連続してメトロノームの拍子 / リズムの種類が変わります。

メトロノーム / リズムは、選ぶと同時に鳴りだします。

メトロノームの拍子 / リズムの種類

Off	16Beat
Metronome 4/4	Rock'n Roll
Metronome 3/4	Club Mix
Metronome 2/4	Shuffle
Metronome (拍子なし)	Swing
March	Bossa-Nova
March 6/8	Cha-Cha
Waltz	Samba
8beat	

NOTE ソングデータによっては、メトロノーム / リズムの音量が小さくなったり音質が変わったりすることがあります。

3 メトロノーム / リズムのテンポを調節する

メトロノーム / リズムのテンポは、テンポの設定画面（P4）で調節します。

4 メトロノーム / リズムを止める

リズムの設定画面（左記）で「Rhythm:」の右にカーソルを合わせた状態で、**[-1/NO] [+1/YES]** を同時に押します。

5 元の画面に戻す

ソング再生の場合は **[SONG]**、デモ再生の場合は **[DEMO]** を押します。

ソング再生に合わせてメトロノームを鳴らす

ソングの再生中にメトロノームを鳴らすと、再生のタイミングに自動的に合わせてメトロノームが鳴ります。再生の停止でメトロノームも自動的に止まります。

NOTE ソングの再生中にリズムを鳴らすことはできません。

カウントイン

ソングの始まりに1小節のカウントイン（メトロノーム）を入れて再生スタートすることができます。曲のタイミングをとって楽器を演奏し始めたいときに便利です。

NOTE リズムトラックのない曲またはGSソングが選ばれているときは、カウントインを入れることができません。

NOTE メトロノームを選んでいるとき (P8) に曲を再生させると、カウントインの設定にかかわらずカウントインが入ります。

1 設定画面を表示させる

[RHYTHM] を押し^{リズム}て設定画面を表示させ、さらに **[RHYTHM]** を押し^{リズム}てカーソルを「Count-in:」の右に合わせます。

2 カウントインを On にする

[+]/YES を押し^{イエス}てカウントインを On にします。

3 カウントインで再生スタート

[▶] を押し^{再生}てソング再生をスタートすると、カウントイン（メトロノーム）が入って再生がスタートします。

ソングは、通常の操作で再生のスタート/ストップを行ないます。

4 カウントインを Off にする

設定画面でカーソルを「Count-in:」の右に合わせた状態で、**[-]/NO** を押し^{ノー}てカウントインを Off にします。

マイナスイオン

聞きたいパートのトラックだけ再生「ソロ再生 (P 10、11)」練習に先だって、練習したいパートだけ再生して聞いてみるができます。
「楽器マイナスイオン」「トラックマイナスイオン」で聞きたいパートのトラックを指定し、ソロ再生します。



ピアノやクラビノーバで
片手練習
「クイックマイナスイオン
(P 10)」

右手パートと左手パートが別々のトラックに入っているピアノ曲などで、練習したいパートの再生をワンタッチでOffにして、(他のパートを再生しながら)ピアノやクラビノーバで片手練習することができます。

ピアノやクラビノーバ、管楽器
などでアンサンブル演奏
「マニュアルマイナスイオン」

特定のトラックを再生Offにし、その他のトラックを再生しながら、ピアノやクラビノーバ、管楽器などをご自分で演奏してアンサンブル演奏を楽しむことができます。いくつかのトラックを同時に再生Offにすることができます。再生Offにしたいパートを楽器ごとに指定するには「楽器マイナスイオン (P 10)」、トラックごとに細かく指定するには「トラックマイナスイオン (P 11)」を使います。

クイックマイナスイオン

1 練習したいソングを選ぶ

ソングの選び方については、P3を参照してください。

2 再生を Off にしたいトラックを選ぶ

トラック 【TR 1/R】 トラック 【TR 2/L】 トラック 【TR 10】の中から、再生を Off にしたいトラックのボタンを押します。

ボタンを押すごとに再生 On/Off が切り替わります。

再生を Off にすると画面下段に「ミュートMute」、再生を On にすると画面下段に「プレイPlay」が表示されます。

NOTE 各トラックには、主に次のデータが入っています。

トラック 【TR 1/R】 (トラック 1) …メロディパートまたは右手パート

トラック 【TR 2/L】 (トラック 2) …サブメロディパートまたは左手パート

トラック 【TR 10】 (トラック 10) …リズムパート

どのパートがどのトラックに入っているかは、ソングデータにより異なります。

3 ソングの再生に合わせて練習する

【▶】を押してソングを再生し、Off にしたパートをご自分で弾いて練習しましょう。

楽器マイナスイオン

1 練習したいソングを選ぶ

ソングの選び方については、P3を参照してください。

2 設定画面を表示させる

インスタ 【INST.】を押して設定画面を表示させます。

3 再生を Off にしたい楽器を選ぶ

ノー 【-I/NO】 イエス 【+I/YES】を押して、再生を Off にしたい楽器を選びます。

4 選んだ楽器の再生を Off にする

マイナスイオン 【MINUS-ONE】を押して、再生を Off (画面右上の「▶」非表示) にします。ボタンを押すごとに再生 On/Off が切り替わります。再生を Off にする楽器は、複数選ぶことができます。

ソロ再生

特定のパートをソロ再生したいときは、ソロ 【SOLO】を押します (画面右上に「S」表示)。

ソロ再生を解除するときは、もう一度 ソロ 【SOLO】を押します (画面右上に「▶」表示)。

5 ソングの再生に合わせて練習する

【▶】を押してソングを再生し、Off にした楽器をご自分で弾いて練習しましょう。

トラックマイナスイオン

【NOTE】トラックとは

曲データの構成単位で、各パート（チャンネル）単位で用意された、データを録音/入力する場所のことです。

ソングデータは、通常 16 以内のトラックで構成されています。

1 練習したいソングを選ぶ

ソングの選び方については、P3 を参照してください。

2 設定画面を表示させる

トラック
【TRACK】を押して、設定画面を表示させます。画面下段に表示されている「▶」が、それぞれのトラックを表しています。

3 Off にするトラックを選ぶ

ノーマル / イェス
【-/NO】【+/YES】を押して再生を Off にしたいトラックにカーソルを移動させ、【MINUS-ONE】を押して再生を Off（「▶」非表示）にします。ボタンを押すごとに再生 On/Off が切り替わります。

再生を Off にするトラックは、複数選ぶことができます。

トラックに割り当てられている楽器は、ソングによって違います。Off にする楽器は、各トラックを On/Off して聞き比べながら選んでください。ソロ再生（下記）をして、各トラックに割り当てられている楽器を確かめることもできます。

【NOTE】トラックにデータが入ってなくても、「▶」は表示されます。

ソロ再生

特定のパートをソロ再生したいときは、【SOLO】を押します（画面中の該当トラックに「S」表示）。

ソロ再生を解除するときは、もう一度【SOLO】を押します（画面下段に「▶」表示）。

4 ソングの再生に合わせて練習する

【▶】を押してソングを再生し、Off にしたパートをご自分で弾いて練習しましょう。

カラオケ

カラオケを楽しむ

MDP-5 に市販のマイクをつないでカラオケを楽しみましょう。カラオケのソングの再生には、次の 2 種類の方法があります。

● ソングをダウンロードして MDP-5 で再生させる

ソングは、「音楽データショップ」
<http://www.music-eclub.com/musicdata/>
からダウンロードできます。

歌詞付きのデータの場合は、専用のアプリケーションを使えば、コンピュータ上で歌詞を表示させながらカラオケを楽しむことができます。

● インターネットに接続したまま、コンピュータ上でソングを再生させる

ソングは「パソカラホーダイ（Windows 98/2000/Me/XP のみ対応）」
<http://www.music-eclub.com/pasokara/>
で再生することができます。

コンピュータ上でソングを再生するときに MDP-5 を接続すると、良い音質でカラオケが楽しめ、マイクにリバーブをかけることもできます。

操作方法については、付属の CD-ROM に入っている PDF マニュアル「MDP-5 取扱説明書（詳細編）」を参照してください。

ダウンロードしたソングでカラオケを楽しむ

NOTE ソングをスマートメディアに書き込む方法は、付属の取扱説明書（基本編）「メロディパート（メインパート）を自分で演奏してみましょう」の「ソングをスマートメディアに書き込む」を参照してください。

1 (歌詞付きのデータを再生する場合) MDP-5 とコンピューターを USB ケーブルで接続する

USB MIDI ドライバーをインストールしてから、付属の USB ケーブルを使ってコンピューターの USB ポートと MDP-5 の USB 端子を接続します。

USB MIDI ドライバーのインストール方法は、付属のインストールガイドを参照してください。

2 マイクを接続する

市販のマイクを マイクイン【MIC IN】に接続します。

3 ソングを選ぶ

ソングの選択方法は、P3 を参照してください。

4 ソングを再生してカラオケを楽しむ

ソングは、通常の操作で再生のスタート/ストップを行ないます。ソングの再生に合わせて歌いましょう。

マイク音量の調節

マイクボリューム【MIC VOLUME】で調節します。

キーの調節

「移調（トランスポーズ）(P7)」を参照してください。

エフェクトをかける

曲に合ったエフェクトをかけることができます。曲によっては、エフェクトの効果がわかりにくいことがあります。

1. インスタ【INST.】を押し続けると、設定画面が表示されます。

2. ノー【-/NO】 イエス【+/YES】を押してエフェクト値を設定します。

ボタンを押し続けると、連続して値が変わります。基本設定に戻りたいときは、ノー【-/NO】 イエス【+/YES】を同時に押します。

設定範囲：0 ～ 127

基本設定：40